

徳島県本庁舎クラウドPBX設備構築等業務 プロポーザル審査基準表

1. 審査の概要

本審査は、徳島県本庁舎クラウドPBX設備構築等業務の受託候補者を選定するため、提出された企画提案書およびプレゼンテーションに基づき、以下の基準に従って採点を行う。

2. 審査項目および採点基準

審査分類	審査項目	審査の視点・着眼点	最大配点
事業者評価	実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 責任者及び作業員がクラウドPBXの構築などの専門知識を有し、十分な実務経験を積んでいるか。 ・ 体制の確実性として役割分担（体制図）が明瞭であり、プロジェクト中にトラブルが生じても迅速にカバーできる布陣か。 	5
	業務実績	官公庁や民間企業の大規模施設における「クラウドPBX移行業務」などの類似実績が豊富であるか。	5
	初期構築業務評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ スケジュール管理が、本県が求める内容で現実的かつ網羅的に円滑に組まれているか。 ・ 導入にあたって求められている要件や作業が見込まれているか。 	15
	機能要件の適合性	・ 機能要件一覧表の要件を満たし、追加付加機能が盛り込まれているか。	15
	稼働環境・信頼性・セキュリティ・保守体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ MAM（モバイルアプリケーション管理）やゼロトラスト、不正アクセス対策内、庁舎に求められる強固なセキュリティが担保されているか。 ・ 災害時等のBCP対策や将来的な拡張性が考慮されているか。 ・ システムトラブルに備えて24時間365日の保守体制が構築されているか。 	20
	移行・研修・プロジェクト管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移行のステップがわかりやすく示され、導入後に職員が迷わず使用できる研修（対面・オンライン・動画等）が計画されているか。 ・ 障害発生時の対応フローを含めたプロジェクト全体を管理する仕組みが整っているか。 	5
	その他提案（拡張性・費用対効果）	<ul style="list-style-type: none"> ・ ライセンス数120以上に留まらず、将来的な全庁展開に対応できる拡張性を備えた計画か。 ・ 外線料金プランの抑制対策など、導入後も継続的に費用対効果を高める工夫が施されているか。 	15
価格評価	本庁見積価格	評価方法】 本庁舎、県庁コールセンターの見積において、それぞれで次の式を用いて配点とする。 全評価対象者のうち最低見積金額／評価対象者の見積金額×配点 ※小数点があった場合は、切り捨てた値とする。	10
	県庁コールセンター見積価格		10
	合計		100

3. 採点にあたっての留意事項

- ・減点事由: 公募開始日から過去3年以内の処分歴がある場合は、評価点から減点を行う。
- ・失格条件:
 1. 提案上限額（本庁舎：計16,558,000円、CC：計**3,745,000**円）を超過した場合。
 2. 構築費等・機器費、ライセンス費及び保守費のいずれか又は1つでも「0」円提示をした場合。
 3. 機能要件に「対応不可」があり、かつ代替案がない場合。
 4. プレゼンテーションに欠席した場合。

4. 提案上限額（参考）

- ・構築費、機器費、保守費：本庁舎：15,320,000円 CC:2,395,000円
- ・ライセンス費：本庁舎：1,238,000円 CC:1,350,000円